

「海外で花開きたいと考える若者たちにチャンスを与えたいんです」こう熱く語るのは、華南エリアに特化した人材紹介・転職支援サービスを展開するキャリアインテグレーションアジアの代表取締役社長、松本博明氏。そんな松本氏もかつては大手人材派遣会社に勤めながらも、海外にあこがれて日本を飛び出してきたひとり。ほとんど何も知らない状態で香港の上を踏み、日本で培った経験やノウハウを活かして、社長にまで上り詰めた実力者だ。人材紹介・転職支援サービス「華南ワークス」を展開するかわら、香港や深センの中小企業経営者らが集う海外起業家ネットワーク「和橋会」を事務局として運営。海外での活躍を目指す日本人にエールを送っている。

日本を飛び出し、海外での活躍を目指す日本人をサポート

海外での活躍目指し、人材派遣大手を退社

私は『華南ワークス』という中国華南エリアに特化した人材紹介・転職支援サービスを運営しています。毎月、日本や中国国内の大学生（新卒）から中高年の技術者まで、幅広い年代層から登録エントリーがあります。また、100社を超える企業様からは、中国語を駆使して中国人スタッフとの橋渡し役ができる若手から、総経理・工場長クラスの経営幹部まで、幅広いポジションで求人依頼をいただいています。『私たちは人と組織のキャリアの統合を実現し、双方に感動される企業を目指す』を企業理念として展開しています。

1998年に大学を卒業後、人材派遣大手パソナに就職。社会貢献性の高いビジネスや、経営者の生き様に憧れて入った会社なので、パソナそのものに不満はありませんでした。むしろビジネスマンとして成長させてもらったことに感謝しています。ただ、大企業によって敷かれたレールの上を走るだけではつまらない。できれば自分が今まで得た人材ビジネスの経験やノウハウを生かして、海外で働いてみたいと思いました。最初から起業を考えていたわけではなく、当初は海外の日系人材会社で働こうと思い、香港、シンガポール、ドイツの会社に就職活動を行いました。2003年のことです。

最終的に香港の日系大手と、パソナを辞め香港で独立した日本人が1人で経営する人材コンサルティング会社の2社から内定を得ました。結果、自分の先輩に当たる元パソナ社員が経営する小さな会社を選んだのですが、最初は大手に行くつもりでした。でも、香港で数多くの日系人材大手を相手に、たった1人で奮闘する社長の姿に心を打たれて、この会社で頑張りたいという思いを強くしました。これがのちに、独立を促すきっかけになったと思います。

新入社員の給与水準に逆戻り、共稼ぎ認められず苦しい生活に

最初に与えられた仕事は新規顧客営業でした。香港の工業団地や倉庫街に点在する日系企業を歩き回り、求人依頼を集めた。仕事そのものはパソナ時代とさほど変わりませんでした。飛び込み営業は、パソナでも高く評価されるほど得意中の得意だったので、半年も過ぎると顧客との面識が広がり、次第に求人依頼が集まるようになってきました。月給は1万3000香港ドル（約20万円）と新入社員レベルに逆戻りしましたが、念願だった海外で働けることの幸せに満たされていました。

ただ計算外だったのは、夫婦で香港に渡った直後に、香港政府が外国人の就労に関する法律を改正したこと。自分自身は問題なかったのですが、永住権を持たない外国人の配偶者の就労が禁止され、妻の就労は不可能になりました。当時、流行した新型肺炎SARSの影響で、香港の失業率が8%近くまで悪化したのが法改正の理由でした。

新入社員なみの月給で、夫婦2人が生活するのはさすがに大変でした。香港の物価の高さは東京とそう変わりませんから。そこで入社1年後、ダメもとで社長に直談判をして給料を出来高制に変えてもらいました。出来高制に変わって、多い月には6万香港ドル（90万円）もの給料を得られるようになり、モチベーションは上がりました。

独立の転機が訪れたのは06年夏。実は、独立する前から、香港、



◀香港和僑会メンバーと



◀オフィス受付と入居ビル

華南と分かれていた会社の営業エリアのうち、華南エリアの運営すべてを任せられるようになっていました。私から「華南はすべて自分にやらせてほしい」と社長に申し入れ、受け入れられたのでした。

給与が出来高制に変わったあと、自分1人でもある程度やっていける自信がついたので、思い切って社長に分社化を提案しました。華南エリアの営業権を丸ごと譲り受け、自分で切り盛りする代わりに、利益の一部を会社に納める仕組みです。いい予行演習ができたので、すんなりと経営を引き受けられました。海外での起業は何かと大変だと聞きますが、自分は恵まれすぎているのかもしれない。

苦労を重ねた香港投資ビザ申請

香港での会社設立登記は会計事務所を通して行いました。何枚もの書類にサインし、いよいよなんだなあ……と実感が込み上げてきました。登記完了までは10日間ほど。英文社名・中文社名も希望どおりOKでした。

しかし、なんといっても苦労したのはビザ取得でした。ビザが取得できないと、会社設立、法人銀行口座がすべて水の泡になってしまいます。そのうえ職も失い、日本へ帰国という考えたくもないシナリオになりかねませんでした。そのようなリスクを考え、前職で働きながらビザを申請する形になりました。申請書類として、大学卒業証明書から過去の就業在籍証明、預金残高証明や賃貸契約書、事業計画書等、いろいろと準備が必要です。ビザ取得までには通常2か月はかかると言われていました。

ビザ申請から1か月はなんの音沙汰もなかったのですが、ようやくイミグレーション（役所）より連絡がありました。このとき、新会社の事業計画やその他の資料提出を求められました。ビザエージェントによれば、今回の担当官は松本さんを後回しにしているのか、それとも審査の厳しい担当者なのか、通常より動きが鈍いとのこと。一抹の不安がよぎりました。

そして、ビザ申請から3か月目に入ろうかというある日、仕事にビザエージェントから電話がありました。「いよいよビザが取れそうだ」

私は電話を受けながら、涙が込み上げてきてどうしようもありませんでした。いよいよ始まるのだなあ……と。そして05年6月、初夏のある日、ビザエージェントからの電話が鳴り、香港投資ビザが下りたと連絡がきました。そのときは、パソナから内定通知が来たときと同じくらいの感動でした。

次なるターゲットは日本の団塊世代

今とくに注目しているのは、「大量退職時代」を迎えている日本の

団塊世代の人材。定年後、「もうひと花咲かせたい」と中国での就職を希望する団塊世代は少なくない。その人々を、人材不足に悩む華南の日系企業に紹介すれば、企業と人材の双方がハッピーになれるはずだと考えています。

けれど、団塊世代の海外就職にはネックもあります。現地採用扱いで契約した場合、給与などの待遇が正社員に比べ格段に落ちるのだ。中国で働きたいが、生活への不安からこの足を踏む団塊人材も多いのです。

こうした問題を解決するために、「キャリア・インテグレーション・アジア」の日本支社をお7年4月に設立しました。中国で働きたい人材を正社員として採用し、その後現地に派遣するよう日系企業の本社に働きかける営業活動を予定しています。

和橋会の仲間らと新ビジネスにチャレンジ

起業する直前に、創設メンバーの1人として「香港和僑会」を立ち上げました。起業に伴うさまざまな困難を乗り越える知恵を経験豊富な先輩たちから学びたいと思ったからです。最初は会長の筒井氏をはじめ、数人の仲間による親睦会のような集まりでしたが、やがて香港和僑会は300人を超えるネットワークに成長しました。異なる分野でそれぞれに奮闘する日本人起業家たちと出会い、多くの知恵と勇気を授かりました。また、仲間たちとのコラボレーションにより、新たなビジネスの可能性を切り開こうとしています。07年秋に有志らが設立した「ジャパンビジネスネットワーク」はその一例です。製造業、IT業、メディア業、人材業など各分野のベテランの日本人起業家が集い、香港・華南でビジネスを展開する中小企業や、これから進出しようとする企業の進出サービスを準備しています。

「まずは思い切って日本を飛び出してみることに」

団塊世代だけでなく、最近では中国で働きたいと考える若者も増えています。かつては自分も、海外にあこがれて日本を飛び出した人間だけに、若者からの相談や求職依頼を受けるととても燃えます（笑）。

閉塞感に満ちた日本を離れ、海外で花開きたいと考える若者たちにチャンスを与えたいんです。自分自身、ほとんど何も知らない状態で香港の土を踏み、社長に上り詰めた経験がある。やればできる、やらなければ何も始まらない、という思いがあります。

「まずは、思い切って日本を飛び出してみることでいい人材といい会社の出会いを応援したい、その思いがあるからこそ、香港における今の自分の仕事があると思っています。たとえ舞台がどこであろうと、確固たる思いや信念があれば、芯の通ったビジネスができるのだと思います。」

Profile



キャリア・インテグレーション・アジア
代表取締役社長

松本 博明氏

新卒で人材派遣大手パソナ入社、海外での活躍を目指し同社退社。来港し現地採用で香港の人材紹介会社 Asian Success 入社。2005年に Career Integration Asia Co., Ltd. を設立する。現在は華南エリアの日本人に特化した人材紹介サービス「華南ワークス」(http://kananworks.com) を展開するかわら、香港をはじめとする海外の中小企業経営者・将来独立を目指す人々が集う海外起業家ネットワーク「和橋会」(香港、深セン、上海、シンガポール)を事務局として運営している。

【会社概要】

会社名: キャリアインテグレーションアジア
(Career Integration Asia Co., Ltd.)
代表者: 松本 博明氏
設立: 2005年3月
資本金: 50万香港ドル
住所: 香港湾仔港湾道6-8瑞安中心2F
(2/F., Shui On Centre, 6-8 Harbour Road, Wan Chai, HongKong)
連絡先: TEL +852-2511-8321 FAX +852-2824-8000
事業内容: 人材紹介業